

水害ハザードマップを使いこなそう

河川氾濫・大雨による浸水・高潮などで「**どの場所が**」「**どの程度(深さ・範囲)浸水する可能性が**」あるかを地図で示したものです。大阪市より避難情報が発令されたときは、浸水区域の外や浸水深以上の高さの建物等への避難をお願いします。



【使い方の例】

- ①災害の種類を選び(左図は寝屋川流域の河川が氾濫した場合)、自宅位置を確認する。(例: JR 鳴野駅南側 ●)
- ②自宅周辺の色を見て、浸水深を確認する。(例: 3~4m)
- ③近くの水害時避難ビルなど、避難先と避難経路を確認する。

市営鳴野住宅1号館(水害時避難ビル)
鳴野小学校(災害時避難所・水害時避難ビル)

城東区
水害ハザードマップ



城東区
防災マップ



「水害ハザードマップ」や「城東区防災マップ」等を使って災害に備えましょう！
城東区役所でいつでもお渡しします！また、ホームページでも確認できます！



河川の避難情報発令対象範囲

河川名	対象区域
寝屋川(全流域)	全域(関目2、4、6丁目を除く)
第二寝屋川	新喜多東、鳴野西、鳴野東、諏訪、天王田、中浜、永田、放出西、東中浜、森之宮
平野川・平野川分水路	諏訪、中浜、永田2~4丁目、東中浜、森之宮
古川	古市、今福東、今福南3、4丁目
淀川	野江、成育、中央、関目、古市、今福西、今福東、今福南、蒲生、鳴野西、鳴野東、新喜多、新喜多東、放出西、天王田、永田1丁目
旧淀川流域等の河川(大川・堂島川・安治川、土佐堀川、木津川、尻無川)	野江1、2丁目
大和川	森之宮、中浜、東中浜、永田2~4丁目、諏訪
高潮の避難情報発令対象範囲	全域

大阪市地域防災計画(資料編)(令和7年3月)より引用

水害時避難ビルの確保を進めています

大阪市の地形は比較的平坦であるため、河川氾濫から身を守るためには少しでも早く「高い」場所(建物の各浸水想定の高さよりも高い位置の階)に避難する必要があります。一時的にまたは緊急的に命を守るための施設として、水害時避難ビルが城東区には169か所あります。



詳細はこちら▶

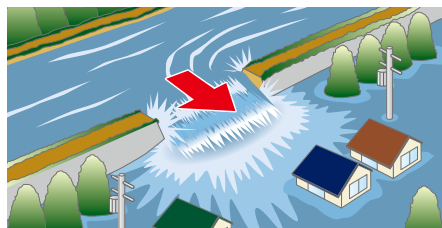
特集

今日から始める、わが家の水害対策

6月から10月にかけては、水害が発生しやすい「出水期」と呼ばれています。水害から大切な家族や住まいを守るために大切なことは、事前の「知る備え」と「早めの行動」です。「もしも」の時に備えて、避難場所や非常持ち出し品のチェックを進めておきましょう。

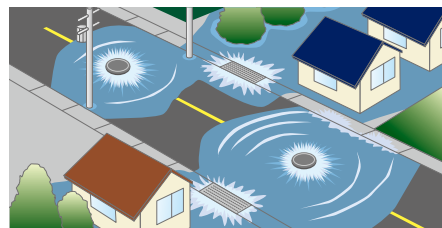
大阪市で想定される大雨や台風による水害

河川氾濫



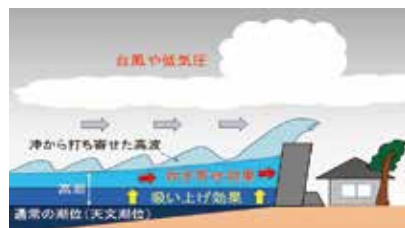
河川の増水により堤防が壊れたり、水があふれだして浸水します。

大雨による浸水(内水氾濫)



大雨が降ったり河川の増水で十分に排水できなくなると、雨水があふれ、住宅地や道路などが冠水します。

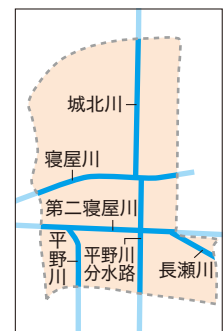
高潮



台風や発達した低気圧の接近により、海面(潮位)が平常時よりも高くなる現象。



城東区でも川から水があふれることがあるの？



はい、あります。大雨などで寝屋川が氾濫した場合、高いところで3m以上浸水すると想定されています。大阪は低地が広がり河川や運河が多く、大雨や高潮で浸水の恐れがあります。城東区も低く平坦な地形と河川・水路があるため、水害リスクに備えましょう。



じゃあ、どんな準備をすればいいの？

非常持ち出し品の準備やマイタイムラインを作成することで、いつ災害が発生しても対応できるようにしましょう！



区役所防災担当

！気象情報が新しくなりました！

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の崩壊や土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの)住民がとるべき行動
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!>					
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険直ちに安全確保!

●主な変更点●

- ①警戒・注意報の情報に「**レベル**」が付記されました。
- ②警戒レベル4相当の情報は「**危険警報**」に、警戒レベル5相当の情報は「**特別警報**」に統一されました。
- ③従来の「洪水警報・注意報」が廃止され、河川の区分に応じて伝え方が変わります。

(例)「洪水警報」
「洪水予報河川※」→(新)「**レベル3氾濫警報**」
「洪水予報河川以外の河川」→
(新)「**レベル3大雨警報**」

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川



災害情報の調べかた



おおさか防災ネット

府内に発表される避難指示など幅広い防災情報を提供します。



気象庁

(キキクル)

雨によって引き起こされる災害の発生危険度が一目でわかります。



大阪防災アプリ

ハザードマップや避難所情報の確認、各種災害情報の通知設定などができます。



川の防災情報

(国土交通省)

河川水位の情報が地図やライブカメラで確認できます。

